



FAMIC(ファミック)

独立行政法人 農林水産消費安全技術センター

FAMIC メールマガジン 第 835 号 (一部抜粋)



令和 2 年 8 月 5 日



5. ◇◇ 最近の話題・キーワード ◇◇

◆ ブリ・マダイの養殖判別の効率化等 ◆



ブリやマダイは高級魚として知られていますが、養殖技術の発達により、日々の食卓にもなじみがある魚です。養殖ブリは天然物の漁獲量とほぼ同程度（令和元年：約 14 万トン）の収穫量であり、マダイにあっては漁獲量の約 4 倍（同：約 6 万トン）が養殖です。しかし、切り身等を見ただけでは、天然物と養殖物を見分けることは困難です。このため、養殖された生鮮水産物には、「養殖された旨を表示すること」が食品表示のルールで義務づけられていますので、スーパーなどで確認してみてください。

さて、FAMIC では、このような表示が正しいかどうかを確認するために、餌の違いにより天然物と養殖物の魚体に含まれる脂肪酸の組成比が異なることを利用して、養殖であるか否かの判別（養殖判別）の検査を行っています。ただ、これまでの分析手法は、工程が複雑かつ時間もかかり、多量の有機溶媒を使用してきました。このため、研究を重ね、令和元年度に、1 回の分析時間を半減、1 回毎の処理可能件数を 2 倍に増加、1 試料あたりの有機溶剤使用量を 16 分の 1 に削減することを実現しました。これにより、検査の効率化と環境負荷の大幅な低減が期待されます。このように、FAMIC では、様々な科学的手法の開発や改良を行いながら、これからも、スーパーなどで販売される食品の表示が正しいかどうかを確認してまいります。

